

2023年8月ハイパーカレンダーレポート

日本中酷暑が続く中、お盆には台風が日本列島に上陸、その前後の影響もあり各地で線状降水帯等による豪雨災害が多数発生した。気象庁では、膨大な気象データを収集・提供しているが、こうした酷暑や災害等については、毎年今年が最悪だという印象を持つものの、データとしての裏付けは薄い。そのため、「気象ビジネス推進コンソーシアム」という気象データを活用した新たなビジネスの創出に向け、気象事業者に加えて情報通信、農業、小売、保険など関係する産業界や先端技術に知見のある学識経験者、関係府省庁・地方公共団体を構成員とした産学官の連携を組織化している。

真夏でも国内外の動きは変わらず活発であり、頻発したマイナンバー問題に対する情報総点検本部の点検指示は、11月末までの対象分野は広く、膨大な作業を担う自治体からは懸念の声があがっている。再発防止に向けて十分対応がとれるかは見通せていない。8月の暑い夏といえば終戦記念日を思い浮かべるが、520人が犠牲となった日航ジャンボ機墜落事故は今も記憶に残る。それから38年は長い年月であり、今年は通信環境が整備され、群馬県上野村の墜落現場を、携帯電話のビデオ通話で慰霊の様子を確認できるようになった。また海外では、日米韓3カ国の首脳が米ワシントン近郊のキャンプ・デービッドで会談。3首脳が国際会議に合わせてではなく、単独で会談するのは初めてであり、安全保障協力の強化や首脳会議を毎年定例化することなどで合意した。

さてハイパー研では、2つのイベントを実施した。1つ目は[企業説明&交流&先端技術体験@別府](#)である。高校生が大分県内のIT企業を知り、先端技術に触れる機会と、将来の進路選択肢のひとつに、そして夏休みの思い出に多くの生徒が参加した。株式会社サマータイムスタジオ、株式会社IoZ、株式会社IDMが登壇、また先端技術体験として、e-Sportsやアバターロボットに触れた。2つ目は[GPU活用セミナー2023~タブレットでAI概念実証を体験~](#)である。GPUプラットフォームを手軽に活用するための勉強会で、株式会社APCの「Chimera AI Evangelist」の画像認識AIの概念実証を体験した。AIを初歩から学びたい、AIを利用した問題解決や価値創造に取り組みたい方々が参加した。

今年度は、国の新たな事業として総務省及び経済産業省のプロジェクトに関わっている。いずれも受託した県内企業をサポートするもので、漸く契約事務が進み活動を開始した。総務省ICT海外展開パッケージ支援事業では、ネパールにおいて、スマート農業IoT管理サービスに関する調査と実証実験を行う。経産省「中小企業地域経済政策推進事業費補助金（地域DX促進環境整備事業）」では、地域のサイバーセキュリティ活動支援を行うものである。

（文責：青木栄二）